

平成20年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会  
第61回全国高等学校バスケットボール選手権大会

彩夏到来 08 埼玉総体



平成20年7月30日(水) 二回戦

Cコート 第3試合 深谷市民体育館

チームA				チームB
光泉	64	14 - 33 19 - 26 11 - 28 20 - 39	126	延岡学園
滋賀				宮崎

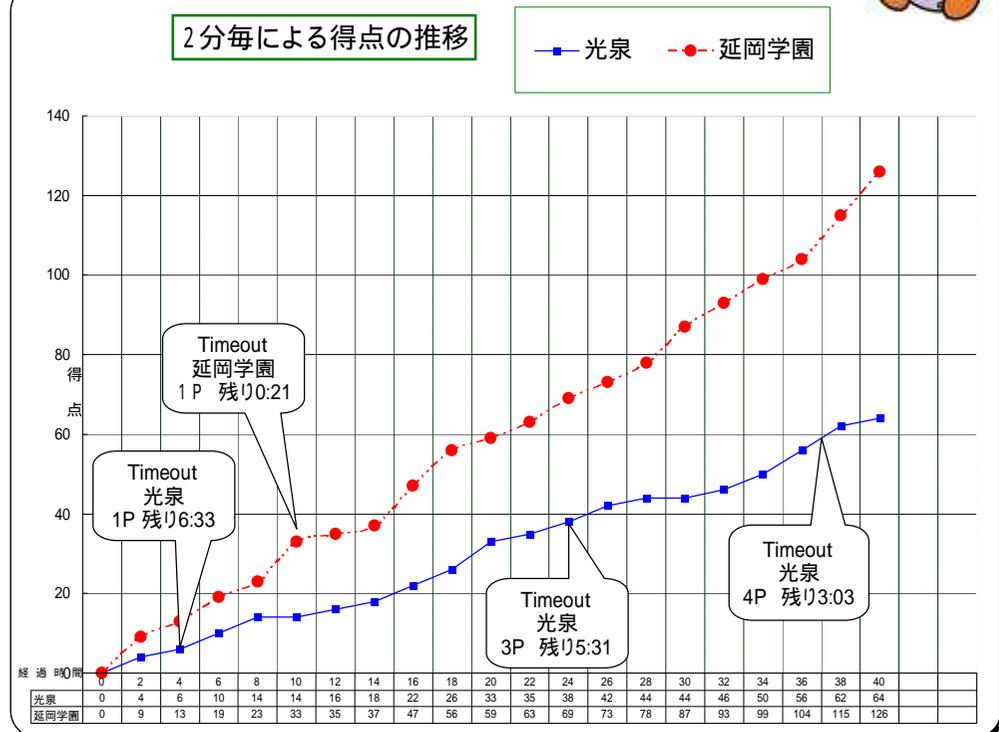
光泉

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	岩崎 太久弥	X	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
5	桐谷 祥平	X	6	0	5	3	11	0	0	2	0	1	6	1	1	0	27
6	藤井 雄介	X	11	1	2	4	14	0	0	1	0	1	1	1	0	1	23
7	原田 一樹	X	15	1	3	6	11	0	2	5	3	3	1	2	3	0	34
8	中嶋 逸仁	/	20	0	0	10	15	0	0	3	1	0	3	0	1	0	31
9	初田 賢	X	4	0	0	1	2	2	2	1	0	2	2	0	1	0	11
10	高橋 冬輝	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
11	長谷川 竜也	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
12	山村 卓大	/	0	0	0	0	2	0	0	2	0	1	0	0	0	0	6
13	清水 隆平	/	0	0	1	0	3	0	0	3	0	1	6	3	5	0	29
14	小林 亮太	/	6	0	1	3	12	0	0	3	0	1	3	2	1	0	23
15	水 優 樹	/	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
コーチ	寺田 均									0	11	6					
出場: ×は先発、/は出場			64	2	12	28	72	2	4	21	15	16	23	9	12	1	200
確率				16.7%		38.9%		50.0%			計	31					

延岡学園

番号	氏名	出場	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		TO	ST	AS	BS	出場時間 単位:分
				成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	内村 祥也	X	9	0	1	4	7	1	2	1	2	3	2	3	3	0	21
5	シダット ジャーラ	X	36	0	0	17	22	2	5	2	6	8	5	1	2	1	27
6	和田 力也	X	20	2	4	7	8	0	0	1	0	3	1	1	7	0	32
7	永吉 佑也	X	22	0	0	9	14	4	5	1	6	3	2	1	2	3	32
8	川元 崇史	X	10	3	10	0	0	1	1	1	0	8	0	2	1	2	34
9	横瀬 孝樹	/	10	0	1	5	6	0	2	2	1	0	1	1	0	0	18
10	曾根田 夏樹	/	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4
11	湯地 寛文	/	8	1	1	2	3	1	1	0	1	1	1	0	0	0	6
12	大坪 将太	/	3	0	0	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	0	8
13	長谷場 祐二	/	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
14	中村 友哉	/	3	0	0	1	2	1	2	0	1	1	0	0	0	0	3
15	エリマン ブイ	/	5	0	0	1	2	3	4	0	0	3	3	0	0	2	10
コーチ	北郷 純一郎									0	1	6					
出場: ×は先発、/は出場			126	6	18	47	65	14	23	9	18	38	17	9	16	8	200
確率				33.3%		72.3%		60.9%			計	56					

2分毎による得点の推移



戦評

3年ぶりの全国制覇を目指す身長で勝る延岡学園。対する光泉は、全員でディフェンスを頑張り、速攻で1回戦を勝ち上ってきた。

第1P 延岡学園ハーフのマンツーマン、光泉は、マッチアップゾーンで対抗するが、高さを活かした#5ジャーラ、#7永吉らが、ゴール下を制し、33対14と延岡学園がリードする。

第2P 光泉は、マンツーマンの激しいディフェンスで追い上げるが、延岡学園#5ジャーラと#15ブイを交互に出場させ、リバウンドからの速攻で加点していく。光泉は、相手の高さを意識してシュートの正確さを欠き、59対33で前半を折り返す。

第3P 延岡学園は、#6和田のドライブインやポストプレイと内外バランスの取れた攻撃で加点していく。時折2-2-1のゾーンプレスを試みたりした。一方、光泉は、センター陣のファウルが増し、苦しい展開となる。延岡学園87対44とリードを広げる。

第4P 光泉はディフェンスで体力を消耗し、単純なオフェンスミスが続き、相手に速攻で加点される。オールコートのマンツーマンで必死にボールを追いかけたが126対64で延岡学園が勝利した。

主審	岸田 吉明	副審	濱 満男	戦評	小池 賢次 (埼玉県高体連)
----	-------	----	------	----	----------------